

越前瓦の家紋表札づくり

対象エリア	永平寺町京善地区
日時	平成26年11月9日（日） 15:00～17:30
開催場所	京善多目的集会センター（永平寺町京善区内）
対象者（人数）	永平寺町京善地区の住民 参加者28名
主催	福井県
協力	福井県瓦工業協同組合 一般社団法人 福井県建築士会青年部 永平寺町
講師	福井県瓦工業協同組合 藤原 綱蔵 氏
ねらい	永平寺町京善地区に数多く残る伝統的民家を構成する材料の一つである「越前瓦」に各家庭の家紋を彫った表札を作ることを通じ、伝統的民家に誇りと愛着を持ってもらおうと共に、地元産業である越前瓦に親しんでもらい、地域産材の供給拡大を目指す。
プログラム	1. 越前瓦の製造工程や特長について学ぶ 2. 家紋表札の製作手順を聞く 3. 家紋表札をつくる
準備物	<ul style="list-style-type: none">・越前瓦粘土 板荒地 24cm角、27cm角、30cm角・下敷き（コンパネ等）・へら・家紋の図柄を印刷した型紙（A3サイズ）・芯の丸まった鉛筆・ラップ



銀鼠色の越前瓦が葺かれた切妻屋根と、漆喰の白壁に屋根を支える構造材が縦横に美しく見える伝統的民家が数多く残る、永平寺町京善地区の家並み。伝統的民家群保存活用推進地区にも指定されている。



まず最初に、越前瓦の製造工程と特長について、DVDを交えて説明した。

越前瓦が他の瓦と違う一番の特徴は、「還元炎焼成」にあり、耐水性に富み、上部ですべりにくく、しかも寒さに強い、福井という風土に適した瓦となる。



越前瓦について学んだ後、いよいよ家紋表札づくり。瓦粘土の上にラップを敷き、家紋の図柄を印刷した紙を設置し鉛筆でなぞって粘土に家紋を転写させた。転写された家紋の図柄に合わせて、へらで彫っていく。

適宜、講師および福井県瓦工業協同組合の青年部の方々に修正等してもらい、ワークショップは終了した。



ワークショップ後、乾燥・
施釉・焼成して完成。




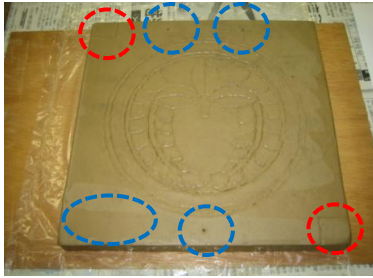

完成した越前瓦の家紋表札
を設置した様子。



完成した越前瓦の家紋表札
を設置した様子。

住教育ワークショップ 「越前瓦の家紋表札」製作手順

手順①	手順②	手順③
 <p>中央に名前を記入します。 (完成品の裏面になります)</p>	 <p>裏返して、粘土の上にラップを敷きます。</p>	 <p>ラップの上に家紋を印刷した紙を、位置を合わせて置きます。この時、端(赤点線部分)を少し折り曲げておきましょう。</p>

手順④	手順⑤	手順⑥
 <p>丸まった鉛筆で、白と黒の境界部分をなぞっていきます。(白部分が彫り込む部分です。)</p>	 <p>粘土に図柄が転写されます。赤丸部分も忘れないように転写してください。青丸部分は希望者のみ転写してください。</p>	 <p>へらなどを使って粘土を彫ります。少し斜めに切り込むと、完成した時に立体感が出ます。</p>

手順⑦	手順⑧	手順⑨
 <p>特に左上図の赤丸部分などは、右下の断面図のように斜めに切り落とすようにしましょう。</p>	 <p>葉脈など細い線は、溝をつけるだけで構いません。</p>	 <p>赤丸部分を切り落とし、青丸部分の穴をあけて(希望者のみ)作業は終了です。お疲れ様でした。</p>

失敗しても修正できますので、係員をお呼びください。
乾燥・焼成の過程で多少のひびが入ることがありますが、ご了承願います。
福井県瓦工業協同組合 ・ 福井県土木部建築住宅課